

平成29年度 公益財団法人 J K A 公益事業振興補助事業（復興支援）報告書

補助団体	認定NPO法人 心の架け橋いわて
事業名	「被災地域および被災者受け入れ地域における児童、高齢者、障害者等を対象とした生活支援活動」
補助期間	平成29年4月-平成30年3月

1 補助事業の概要

（１）事業の目的

東日本大震災により甚大な被害を受けた岩手県大槌町におけるメンタルヘルス支援活動の一環として、被災住民（特に災害弱者である児童、高齢者、障害者）が生きがいを持つことができるような「居場所づくり」のためのコミュニティ・カフェや参加型サロンを運営する。そこではメンタルヘルス専門家による情報提供や相談の場を提供する。

（２）実施内容と活動成果

①大槌町内活動拠点におけるコミュニティ・カフェの開設とサロンの開催

当法人では、平成27年より大槌町内の植田医院が新築となったことから移転後の同院仮設診療所（以下、大槌ベース）を地元2団体（おばちゃんクラブ、NPO法人つどい）と共に使い始め、個別相談、参加型サロン運営も可能なコミュニティ・カフェの機能を追加することで、高齢被災住民の生きがい作り、居場所作り、世代間交流の場として整備を進めた。原則としてコミュニティ・カフェは火・金・土曜日に開設した。平成27年12月に着手した大槌ベースにおける拠点型サロンは、参加者の特性に合わせて従前の巡回訪問型サロンと併行して行い、徐々に回数を重ねた（平成29年4月から30年3月までに48回開催）。原則としてサロンは土曜日に開催（週によっては日曜日、月曜日に開催）した。サロン内容は出来る限り住民の要望に合わせた参加型とし、多様な内容を取り入れた。高齢者を含む多世代が参加できる「モノづくりサロン」と、高齢者を抱える勤労世代を対象とした「職域サロン」を新たに開催した。サロンには啓発教育的なメンタルヘルス講話を短時間盛り込み、相談希望者にも対応した。大槌ベース来訪者および巡回訪問型サロンでの相談への対応は、情報提供、一般的傾聴、精神医療的傾聴、精神医療的介入に大別され、初回相談の対応者がこれらの振り分け作業を行うことで、その後にメンタルヘルス専門家が適切に対応できるようにした。平成29年度のコミュニティ・カフェ、サロン、相談会への参加者総数は予想を上回り800名を超えた。

②多職種メンタルヘルス専門家チームによる相談希望者への対応と被災者住宅訪問活動

個別相談は、金曜日の震災ストレス相談室（大槌町役場内相談室、大槌町役場敷地内の法テラス、大槌町内の大規模商業施設マスト内の相談室等を借用）、大槌ベース（コミュニティ・カフェ開設時）にて施行した。訪問活動は、大槌町社会福祉協議会支援スタッフとの同行訪問に加えて、当法人のメンバーによる被災者宅訪問（こころがけ訪問）を行った。平成29年度の個別相談者総数は92名であった。相談の内容は多岐にわたり、仮設住宅からの再住み替え問題、子どもの進路問題、高齢化問題といった震災後の中長期的課題が目

立った。他の支援団体や地域担当保健師からの相談・依頼もあり、通常の医療支援のみでは解決しない包括的支援の必要性が増している。土曜日や時間外の活動等 NP0 法人ならではの行政サービス補完機能の重要性を再認識した。これまでと同様、自発的通院が困難な認知症事例、精神障害事例、震災による付加的ストレスによる病態悪化事例への対応等を継続し、医療面のみならず幅広い内容の相談に応じた。

③岩手県在住の「地域支援メンバー」による自立的サロンの開催

平成 26 年度から始めた岩手県在住者を対象とした災害復興メンタルヘルス研修会の登録受講者 53 名のうち 12 名の対人専門職（教員、看護職、産業カウンセラー等）がインターンとして活動参加を希望した。その後、現地でのオリエンテーションと選考面接を経て、平成 28 年度には本業との調整可能な 7 名のインターンが活動に参加し、インターンによる自立的サロンを開始した。同インターンシップ制度（第 1 期）は平成 29 年 3 月で終了し、同年 4 月よりインターンは「地域支援メンバー」に昇格し、主に関東圏から活動に参加していた「遠隔支援メンバー」との連携協力を進めた。上述の「モノづくりサロン」（全 7 回）と「職域サロン」（全 7 回）は地域支援メンバーによる自立的サロンである。これ以外のサロンの運営も、遠隔支援メンバーと協働した。「モノづくりサロン」では学童と保護者や高校生、「職域サロン」では管理職世代勤労者といった従来のサロン参加者とは異なる対象に啓発教育を拡げることができた。

④メンタルヘルス専門家による支援者支援活動と支援団体間連携

従前に引き続き、大槌町内の関連機関である町役場健康福祉課、社会福祉協議会、同町内の被災者支援団体である NP0 法人つどい、ぬくっこハウス、子ども夢ハウス、ベルガーディア鯨山等と交流の場を持ち、メンタルヘルス専門家としての専門的知識や助言を提供した。宮城県および福島県の被災地メンタルヘルス支援団体（一般社団法人震災こころのケア・ネットワークみやぎ、NP0 法人相双に新しい精神科医療保健福祉システムをつくる会）とは平成 25 年より年に 1 回の共同シンポジウムを当法人が主催してきた。今年度は明治学院大学で開催された第 24 回多文化間精神医学会において、シンポジウム「多文化をキーワードに多職種連携による長期災害メンタルヘルス支援活動を振り返る」を企画運営した。

以下に代表的なサロンの広報チラシと写真を紹介する。

ア モノ作りサロンの実施

公益財団法人 JKA 補助事業

こころがけ
KOKOROGAKE

平成 29 年度
モノづくりサロン
第 1 回 (全 6 回)

紙粘土 de 彫塑
- 立体お面制作 -
イタリアの彫刻の先生が日本語で指導します。

講師: Rosaria Iazzetta (ロザリア イアゼッタ)
ナポリ国立美術院 教授 (彫刻) (イタリア・ナポリ在住)

日時: 平成 29 年 7 月 30 日 (日)
9:30 ~ 15:30 昼食休憩 12:00 ~ 13:00
※昼食は各自で準備願います。

会場: 旧植田医院仮設診療所

定員: 10 名 (参加無料) 目的は自由、どなたでも参加できます。
※小学生以下の参加については、大人同伴をお願いします。

■あれこれ相談コーナー 15:30 ~
モノづくりサロンの後に、無料相談コーナーを開設します。
専門スタッフが、お悩みの相談に対応いたします。
必要に応じて、専門分野のスタッフや関連施設をご紹介しますこともあります。

■参加のお申込み ※FAX もしくはホームページからお申込みください。
認定 NPO 法人 心の架け橋いわて事務局 FAX: 019-651-2117 (奥面)
ホームページ: <http://kokorogake.org/contact/>
携帯電話は、右のQRコードをご利用ください。
「お問い合わせ内容」の欄に「730 モノづくり参加」と
入力して送信してください。

＜今後の開催予定＞
9/24 木製小物入れ制作 10/15 アクセサリー制作 11/11 写真撮影テクニック
12/9 カラーセラピー H30/2/3 アートセラピー

主催: 認定 NPO 法人 心の架け橋いわて
協力: いわてアートプロジェクト実行委員会



イ 職域サロンの実施

こころがけ
KOKOROGAKE

職域サロン「快適職場作りの
ための知恵袋」のお知らせ

認定 NPO 法人 心の架け橋いわて (こころがけ) では、住民の皆様のために「役に立って、楽しめる」サロンをこころがけています。

今回は、快適な職場作りのためのサロンを企画しました。テーマは「コミュニケーション能力向上～より良い職場の人間関係づくりのために～」です。本職域サロンシリーズは、来年度 2 月まで計 7 回開催します。皆様お誘いの上、ご参加下さい。サロンの後にはストレス相談もあります。定員は 20 名。参加費は無料です。

日時 7 月 24 日: 14 時から 16 時まで

会場 釜石商工会議所 3 階会議室 (釜石市貝町 1-4-4)

講師 藤村七美
(シニア産業カウンセラー、こころがけ地域支援メンバー)

※ 申し込み方法等のお問合せは、釜石商工会議所 中小企業相談所まで (TEL: 0193-22-2434) お願いします。

NPO 法人 心の架け橋いわて
協同事務所電話・ファックス: 019-651-2117
大船ベース (旧植田医院仮設診療所) 電話: 0193-55-6618 (留守電あり)
E-mail: info.kokorogake@gmail.com ホームページ: <http://kokorogake.org>

公益財団法人 JKA 補助事業



ウ 音楽サロンの実施



エ 軽運動サロンの実施



オ 染め物サロンの実施



カ ICTサロンの実施

ころがけICTサロン3
地域で生きるICT
 日時：平成29年8月26日(土) 10:30~12:00
 場所：旧植田医院仮設診療所

コンピュータは地域の様々な場所で使われています。これからどのような仕組みが登場し、地域社会で使われるようになるか。現在の導入事例と将来の展望をご紹介します。



Iwate Local Guides
#3 OTSUCHI

午後からは実際にGoogle Mapに情報を書き込むイベントも開催しています。
 詳細は「岩手ローカルガイド」で検索！
 主催：Iwate Local Guides 協力：ころがけ

講師プロフィール



渡澤 寛之（たきさわ ひろゆき）
 岩手県立大学大学院ソフトウェア情報学研究科中。IT系ベンチャー企業、株式会社クリアフィックス取締役。喫茶店、ベンチャー企業などの経営を経て、ICTの普及を目標とした活動に取り組む。

主催：ころがけ 特定非営利活動法人 心の架け橋いわた
 〒020-0013 盛岡市東町 11-10-407
 TEL: 019-601-2117 URL: <http://korogake.org>
 Email: info.korogake@gmail.com

このサロンは盛岡、しんきんの絆、大槌町からの補助金および助成金により運営しています。



2 予想される事業実施効果

震災後7年が経過し、仮設住宅から復興住宅等への住み替え時期を迎えている。震災後に形成された仮設住宅を中心とする新しい「地縁」は、再び分断されることになり、高齢者の居場所作りは、これまでに増して町の重要な課題である。本法人が提供しているコミュニティ・カフェおよびサロンは、住み替え後にも足を運べる居場所であり、年間約800名の利用者の中にはリピーターの方々も増えてきている。またモノ作りサロンでは、親子での参加者や若者も増えてきており、世代を超えた居場所作りと交流の場としても機能しつつある。職域サロンでは、高齢者介護を担う世代の参加者が主体であり、メンタルヘルス相談会では高齢家族の認知症問題への対応も受け付けている。コミュニティ・カフェおよびサロンを通じて本法人の多職種メンタルヘルス専門家による情報提供、相談対応、医療導入支援などの効果が予想される。

(1) 補助事業により作成したもの

(2)(1) 以外で当事業において作成したもの

心の架け橋いわて活動案内冊子 (<http://www.kokorogake.org>)

[illegible]

4 事業内容についての問い合わせ先

団 体 名： 認定NP0法人 心の架け橋いわて（ココロノカケハシイワテ）

住 所： 〒020-0013

岩手県盛岡市愛宕町 11-10-407

代 表 者： 理事長 鈴木 満（スズキミツル）

担 当 部 署： 事務局（ジムキョク）

担 当 者 名： 助成金担当 衛藤由美（エトウユミ）

電 話 番 号： 019-651-2117

F A X： 019-651-2117

E - m a i l： kki6eto@gmail.com

U R L： <http://www.kokorogake.org>